

システム管理方法論

担当教員	新美礼彦
対象	学部3年生
科目群	情報アーキテクチャ学科専門選択

授業概要

ファイルサーバ、メールサーバ、HTTPサーバなどネットワークで接続されることにより利用される各種のサーバの管理、運営法を実験的なシステムの構築を通し学ぶ。

キーワード

システム管理、OS、ネットワーク、サーバ（Webサーバ、メールサーバ、ファイル共有サーバ）、セキュリティ、Linux

到達目標

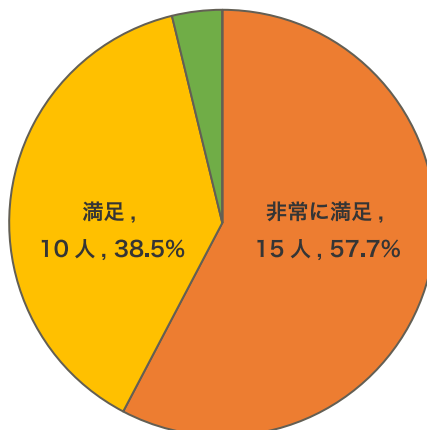
計算機システムの管理についての知識を学習し、技能を修得する。

- システム管理者に必要な情報収集能力、報告書作成能力、日常的なコンピュータ操作技術の習得
- スタンドアロンUNIXシステムの管理・運用に関する知識および技能の獲得
- ネットワークの管理・運用に関する知識および技能の獲得
- クライアントにおけるネットワークサービスの運用に関する知識と技能の獲得
- サーバの管理・運用に関する知識および技能の獲得

授業フィードバックアンケート結果

授業満足度

非常に満足	15人	57.7%
満足	10人	38.5%
コメントあり	1人	3.8%
不満	0人	0.0%



コメントあり, 1人, 3.8%
不満, 0人, 0.0%

授業フィードバックアンケート結果

来年度以降も続けてほしいこと (抜粋)

- グループでの演習なの良かったです。
- Linux サーバに触れるいい機会になったと思うので、演習方式を続けるべきと思う。他の必修授業をやるくらいなら、この授業を全コース必修にすべきだと思う。
- 演習前レポートは、演習の授業の時に円滑に課題を進めるために必要なので、続ける必要があると思った。
- 実際にサーバを立てられる。ネットワークやサーバについての知識を座学で得られる。TA は課題チェックの人員のためには必要だと思う。
- 講義中のちょっとしたクイズ 演習前レポート、演習後レポート 演習時のグループ分けをランダムにしたこと。講義後の小テスト。

履修者から後輩へのアドバイス (抜粋)

- かなりいい授業!!! コマンドの使い方がかなり身につく! サーバやネットワーク周りの知識がつく! 調べる力がつく! だけど、課題の量がアルゴに匹敵するほど多い! でもこの課題は意味があると感じさせてくれるとので、時間を取られる覚悟がある人はぜひやってほしい!!!!
- サーバなどのバックエンドの知識を身につけ演習で実際にやってみるという、流れができていて学んだことを活かすことができる講義でとてもいいと思った。
- レポートをちゃんと書かないと大変。だいたいレポート作成には 2 時間ぐらいかかる。サーバがうまく動く楽しい。私はサーバに関する知識が微塵もないデザインコースだったのだけど、なんとか最後までいけた。それでも根気よくやってみれば意外と行ける。
- おそらく皆さんの年度のシラバスにも、本講義がある程度ハードである旨があると思われる。わたしはまったくの初学者だったものの、なんとか食らいついてこのフィードバックを書いています。

担当教員インタビュー

Q この授業を設計・実施する際のポイントを教えてください。

A 学生があまり触れたことがないサーバ管理に関する授業なので、まずは受講生が興味を持ってもらえるように考えました。最近の話題を取りあげたり、実際のサーバ管理の様子が見られる参考文献を用意したりしました。また、演習準備で設定を試したい学生や興味がでて色々試したい学生が自習しやすいよう AWS 環境や学外からの演習サーバへのアクセスをできるように準備しました。

Q この授業で特に気をつけているところは何ですか？

A 学生が演習ではまるっきりわからないよう、演習内容については事前に TA にすべて行ってもらい、演習内容や演習の文言、ヒントの出し方などが適切か確認しています。また、講義中に取りあげている話題が古くなっていないか TA に確認してもらって、つねに最新の話題になるように気をつけました。

Q この授業を担当していておもしろいところ、楽しいところを教えてください。

A 勉強しなくてもネットで検索したり AI に聞いたりすればどうにかなんとかなると思われがちですが、どう検索するかを考える時や、検索結果が正しいかの判断する時など、実は知識が必要だったりします。直接は、授業内容自体とは関係ありませんが、学生がそれに気がついて演習準備の取り組み方が変化するのに立ち会えるのが担当していて楽しみです。あとは素直に授業準備のために最新のサーバ環境を試しながら演習課題を考えるのがおもしろいです。